

令和5年度 第6回 政策決定会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和5年10月30日（月） 09：30～10：00
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、波積副市長、大下教育長
 - ◆説明者：西川総合政策部長、田中企画課長、高井政策担当主幹、上田主任、上担当員、藤浪教育次長、井上教育総務課長、片山学校教育部長、松本学校教育課長、牟田生涯学習部長、井出生涯学習課長
-

◆審議事項

第3期岸和田市教育大綱の策定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・総合政策部企画課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉学力も体力も府内平均に比べ低い状況の中、また、人口が減少し、大きな税収の伸びも期待できない中で、たくさんの人に住んでもらい、住み続けたいと思われる都市としていくためには、教育・子育ては一番大事な柱であるため、ぜひとも充実させていきたい。今後、「大綱」に沿った「教育重点施策」の策定により具体化し、実現に向け取り組んでほしい。

教育は継続性と連続性が重要だと思っている。就学前からの学習の環境づくりについては、現実にはなかなか難しいが、教育都市を標榜している自治体は力を入れて進めている。基本方針1③の「保・幼・小の連携の強化」は非常に大事で、「幼児期における教育の充実」が関係方針の1番目に挙げられているのは非常に良い。

基本方針8③「郷土愛の育成」は、先月「文化創造ビジョン・岸和田」を策定しているところであり、文化面でも観光分野への利用の面でも重要。とりわけ食文化のような日常生活に根差した文化から新しい文化を創造することは非常に重要なので、是非よろしくお願ひしたい。

「大綱」がここまで詳細である必要があるか、今後検討が必要。大綱には市長の考え方や理念を記載し、より詳細な内容については、毎年作る「岸和田市教育重点施策」で書き込めば良い。次々期以降、簡素で適正な内容、手続きにできるよう検討してもらいたい。

〈波積副市長〉大事なことは現場でどう具体化するかということなので、ぜひしっかり取り組んでももらいたい。一部の子ども達は、恐らくどこかで学校の勉強が将来役立たないと思っている。しかし、実際は、社会人になり課題に当たったとき、体力も含め、高校までの勉強は武器になる。武器を与えてもらっているのに大事でないと思っている子ども達がいることが本当に問題。ぜひ現場では大綱に基づき、社会人になったときに使える

ものをもっていることを理解してもらえるように。特に数学・英語・国語はスキルとして非常に大事。また、体力が府内平均を下回っていることは非常に残念。ぜひそれを含めしっかりしたこども達を育ててもらいたい。

中身の簡素化については賛成。大綱なので市長の哲学を端的に示し、それに基づいて「岸和田市教育重点施策」で具体化されることが適切。

〈教育長〉総合教育会議において、市長と教育委員を交え十分議論し、共通認識のもとに本大綱を作成でき、大変うれしく思っている。市長と教育委員会とで合意できた内容について、着実に施策を進めていきたい。

教育大綱の中身がこと細かく書かれているのは、4～5年前まで、市長の考えと教育委員会の考えが必ずしも細部まで一致しているものではなかったことが原因の一つ。具体的に詳細に書くことによって双方共通の考え方のもとに進めていくということがあったのではないかと思うが、現段階においては、両副市長のお話のように詳細に書く必要はないかと思っており、教育委員からも総合教育会議において同様の発言があったため、総合政策部で改めて検討いただきたい。

波積副市長がおっしゃった、学校の勉強の重要性について、我々が受けたような詰め込み一辺倒な教育であればコンピューターが肩代わりするが、最近の学習の内容は様変わりしてきており、こども達自らが考え、課題を見つけ、その課題解決に向け友達と協議し、まとめていくという、実生活に結びつくような教育方法に変わってきているので、その成果を大いに期待したい。しかし、そればかりでなく、基本的な教養と言われる基礎知識の習得についても努力が必要。その部分が岸和田のこども達の課題であるので、取り組んでいきたい。

〈市長〉政治と教育は切り離されるべきとされる一方、市の教育の在り方は市民に確認し進めていかなければいけないので無縁ではない。教育と市民の意見をうまく融合していくということが第4期に向けてのテーマだと思う。

〈総合政策部長〉他市の事例も勉強しながら、第4期大綱に向けて準備を進めていきたいと考えている。

〈波積副市長〉大綱に教育委員からの詳細の意見が入らないことに懸念があるならば、その意見はきちんと引き継ぐこととし、その意見を踏まえて具体化していけば良い。

〈総合政策部長〉「岸和田市教育重点施策」との連動も考えていきたい。

〈市長〉足並みをしっかり揃えるための教育大綱ということで、教育と民主主義が融合する形で、第4期の大綱についてはシンプルに策定できるよう検討すること。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和5年 10 月 19 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	第3期岸和田市教育大綱の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に則り、令和6年度からの第3期岸和田市教育大綱の策定を行っています。総合教育会議における市長と教育委員会の協議・調整を経て、「第3期岸和田市教育大綱」の素案をまとめましたので、パブリックコメントを実施するにあたり、付議を依頼するものです。
説明者	企画課長 田中 浩二、同課担当主幹 高井 大都 同課主任 上田 孝久、同課担当員 上 鈴代 生涯学習課長 井出 英明、教育総務課参事 柿花 真紀子
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和5年度 第6回会議
付議事項	第3期岸和田市教育大綱の策定について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を策定することにより、円滑で効果的な教育行政の運営を目指す。

★総合計画上の位置付け

1040302	基本目標	岸和田の次世代を育むまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	子どもの個性や能力が豊かに育まれている
	個別目標の方向性	③ 学校園の適正な維持管理や魅力ある運営を行う
	行政の役割	教育行政を円滑かつ効果的に運営し、活力ある学校づくりを進める

★現状と課題

総合教育会議における市長と教育委員会の協議・調整を経て、令和6年度からの「第3期岸和田市教育大綱」の素案をまとめた。今後、パブリックコメントを実施予定。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
教育大綱に基づき、教育委員会において、教育重点施策を策定し、事業を実施予定								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
有	無						

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。